

東北地方太平洋沖地震の影響で、東京湾臨海部の埋め立て地において、液状化現象による地盤沈下、大量の噴砂がみられ、建物の傾斜、路面舗道の損壊、断水、ガス供給停止など深刻な被害が起きている。

千葉県浦安市の京葉線舞浜駅、新浦安駅周辺では、液状化現象によって大型スーパー周辺が約 70cm 地盤沈下したのをはじめ、ホテルやマンション、戸建て住宅など多くの建造物周辺が地盤沈下、もしくは傾斜した。路面、舗道の一部隆起・陥没などによる損壊、電柱やバス停支柱、電話 box の傾斜、倒壊、マンホールが路面から浮く被害も多数確認できた。側方流動が起きたと考えられる。13 日以降は噴出した地下水、砂が乾燥しはじめ、街並みがかすむほどの砂ぼこりとなって舞っている。

東京都お台場から葛西臨海公園駅周辺の埋め立て地、京葉線市川塩浜駅周辺をはじめとして、千葉県美浜区などの海浜幕張駅周辺など、他の東京湾臨海部埋め立て地においても、多くの液状化現象が確認できた。

千葉県浦安市では、水道管破裂など上下水道設備が損傷したため、約 7 万 7000 戸で断水が続いている。給水車や給水地指定をうけた市内小中学校前には、長い列ができ、市内や隣接する市や区のスーパーには、ペットボトルや給水配給のためのポリタンクを買い求める客が殺到した。ガス供給停止は、13 日時点で、市内で約 4800 戸。上下水道などの復旧までには、早くても 2 週間以上はかかるとのことである。

浦安市にある東京ディズニーランドでは、地震翌日 2011 年 3 月 12 日から休園を続けている。液状化による泥砂が噴出、バス停の支柱や街灯が傾斜、もしくは倒壊した。また、周辺が地盤沈下したホテルや、断水のために、近隣ホテルも営業停止が続いている。計画停電の対象地域であったが、被災地であることを東京電力に申請し、15 日時点では対象地域から外された。

< 参考 >

千葉県庁 液状化危険度予測図 (平成 19 年度千葉県地震被害想定調査)

<http://www.pref.chiba.lg.jp/bousai/jishin/higaichousa/souteijishin/ekijouka.html>

東京都土木技術支援・人材育成センター 東京の液状化予測図

<http://doboku.metro.tokyo.jp/start/03-jyouhou/ekijyouka/index.htm>





(上記3枚) 京葉線新浦安駅 駅前交差点。液状化現象で傾いた電話BOXや隆起や陥没がみられる舗道。駅前のため、砂は13日現在ある程度撤去され、液状化で損壊した舗装レンガが見えている。





(上記3枚) 京葉線舞浜駅(ディズニーリゾート徒歩アクセス駅) 舞浜駅構内とバスロータリー
階段や陸橋の橋脚など液状化で露出、舗道は損壊。



京葉線新浦安駅 大型スーパー。70cm地盤沈下
この状況下で営業、水など必要物資を販売。



周辺のマンホール



新浦安 明海5丁目 コンビニエンスストア
信号機支柱も傾斜、コンビニエンスストアも傾斜している。右写真は噴砂撤去前。



京葉線新浦安駅前の駐車場
液状化で砂に埋没した自動車



新浦安 日の出4丁目の歩道
(建物周辺は地盤沈下)



路面 損壊箇所多数 276号線 「富岡交番」交差点(右は京葉線高架)



276号線



276 号線



276 号線



浦安市運動公園総合体育館前



舞浜地区のホテル



東京ディズニーランド駐車場。地震後に液状化し、水と泥砂により一面 池のような状況下であったという。TDLは、復旧を急ぎ、液状化して噴砂した砂はほぼトラックで運送済み（13日時点）。（背後はシンデレラ城やスペースマウンテン）

以下、新浦安地区

